

2025 年度 部局 FD 活動報告

商学部・経営学研究科

<p>1. 各部局の FD の検討・実施体制を書いてください。（必ずご記入ください）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育の内部質保証委員会（研究科長、副研究科長、研究審議会第 5 号構成員）</li> <li>・同委員会で年度毎に FD 研修について実施内容検討</li> </ul>		
<p>2. 教育改善・教育評価・FD に関する講演会、セミナー、ワークショップ等の開催</p>		
開催日	内容（タイトル）	参加者数
2026 年 2 月 18 日	経営学研究科の中川慧教授から、「生成 AI の仕組みから見る教育活用に関する課題」をテーマにご講義いただいた。生成 AI の仕組みや商学部・経営学研究科の教育に与える影響などについて説明および議論が行われた。部局の教育における位置づけと合わせて、今後も教育の質内部保証委員会を中心として継続的に検討することを確認した。	39 名
<p>3. 教育改善・教育評価・FD に関する会議、委員会等の開催</p>		
会議・委員会名	内容・開催日 (複数回の場合は「第 1 回 (*月*日) ~について」 「第 2 回…」と記載)	委員の人数
教育の内部質保証委員会	2025 年度前期成績分布状況（学部・大学院博士前期課程・大学院博士後期課程）、2025 年度前期「授業振り返り（授業評価アンケート含む）の実施結果概要、その他について。2026 年 1 月 30 日開催。	3 名
<p>4. 上記以外の教育改善・FD に関する取組</p>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・成績不振の学生に対する学習相談 一定の基準にもとづいて成績不良者（留年・仮進級生）をリストアップし、専門ゼミナールに所属している学生についてはゼミ教員が、専門ゼミナールに所属していない学生については、教務委員等が直接面接・連絡し、学生の状況を把握するとともに、学力向上の方法について共に考える機会を作った。</li> <li>・経営学会主催の大学院生向け研究会の実施 日時：2025 年 7 月 28 日、15：00-16：30（1 号館 120 教室） 参加者：約 30 人（大学院生・教員） 大学院生向け研究会は、経営学研究科の大学院生（主に新生）向けに開催しており、今年度は中本龍一先生が報告された。研究上の課題や解決策など広く研究について紹介され、大学院生や教員からの質問に答えて懇談した。大学院生にとっては、研究について学ぶ良い機会になった。</li> <li>・『CORE・学生論文特別号 2026』優秀論文の表彰 日時：2026 年 3 月吉日</li> </ul>		

『CORE・学生論文特別号 2025』に掲載された論文から選考を行い、複数の優秀論文を決定した。受賞者は商学部ホームページにて発表した。商学部の専門ゼミナールでの学生の勉強意欲を高めるための試みであった。

・2025 年度商経人権研修会

日時：2026 年 1 月 14 日（水）13:00～13:50（オンライン開催）

テーマ：大阪公立大学「EJ ART」人材育成プログラムについて

講演者：吉田隆之（都市経営研究科 教授）

参加者：商学部・経済学部から 64 人

大阪公立大学では、2023 年度から文化庁「大学における文化芸術推進事業」に採択され、「Equity（公正）& Justice（正義）」を軸としたソーシャルアートコーディネーターの人材育成事業を実施している。本事業の概要とこれまでの成果についてご報告いただいた。

・優秀 GPA 学生の表彰

3 月 24 日の学位授与式で表彰を行った。

5. 年に 1 回以上、FD 活動に参加した専任教員の人数 [実数]（必ずご記入ください）

・年に 1 回以上、FD 活動に参加した専任教員の人数 （ 40 ）人

・所属内の専任教員の人数 （ 40 ）人

6. その他、追記事項

特になし。